

北海道地方ダム等管理フォローアップ委員会

滝里ダム定期報告書 概要版

平成31年3月

目 次

1. 事業の概要
2. 防災操作
3. 利水補給
4. 堆砂
5. 水質
6. 生物
7. 水源地域動態
8. 景観

1. 事業の概要

滝里ダムの概要と位置

- ・ 滝里ダムは、石狩川水系空知川の中流に位置する。
- ・ 平成12年に竣工し、管理に移行してから平成29年まで18年が経過している。

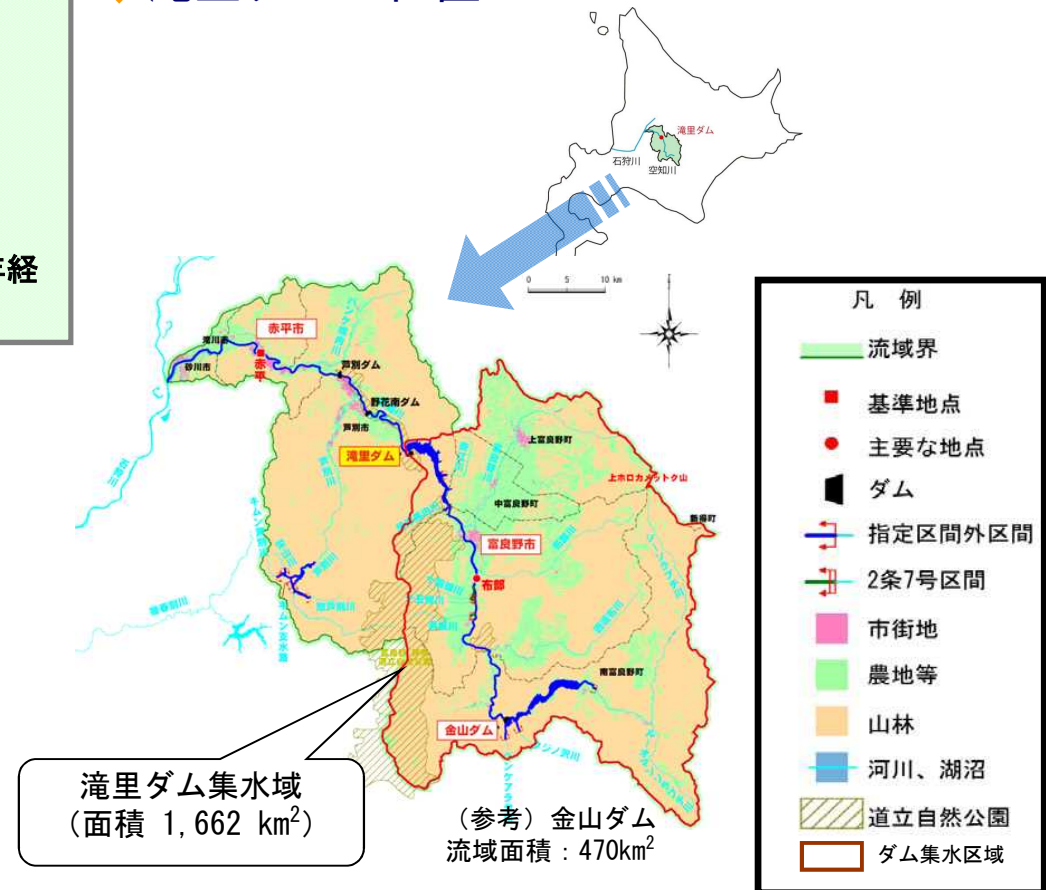
◆ 滝里ダムの概要

- ・ 形 式：重力式コンクリート
- ・ 目 的：防災操作、流水の正常な機能の維持
かんがい、水道、発電
- ・ 堤 高： 50.0m
- ・ 堤 頂 長： 445.0m
- ・ 総貯水容量： 108,000千m³
- ・ 堤 体 積： 455千m³
- ・ 集 水 面 積： 1662.0km²
- ・ 管理開始年：平成12(2000)年（平成29(2017)年まで18年経過）

◆ 滝里ダムの外観



◆ 滝里ダムの位置



◆ 滝里ダムの目的

防災操作

ダム地点の計画高水流量 $3,600\text{m}^3/\text{s}$ に対して、計画最大放流量 $2,400\text{m}^3/\text{s}$ を放流し、最大 $1,200\text{m}^3/\text{s}$ の防災操作を行う。

流水の正常な機能の維持

ダム下流の既得用水に対する補給等流水の正常な機能の維持と増進を図るため、赤平地点で $12.0\text{m}^3/\text{s}$ を確保する。

かんがい

空知中央、南美原地区等の田畑約 $40,700\text{ha}$ に対し、最大 $138.256\text{m}^3/\text{s}$ の取水を可能とするよう補給を行う。

水道

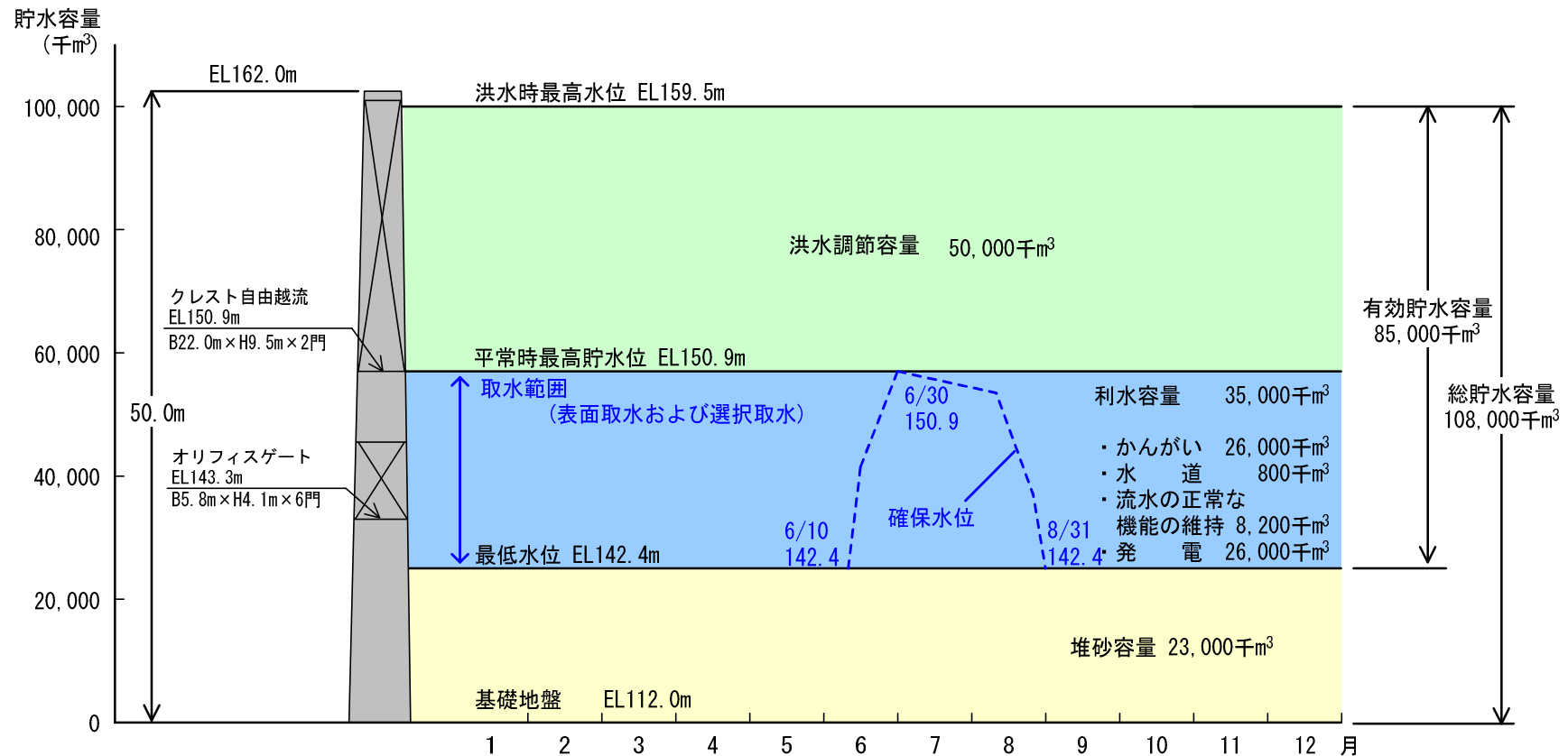
滝川市、江別市等の4市に、最大 $0.7536\text{m}^3/\text{s}$ の取水を可能とするよう水道用水を補給する。

発電

滝里発電所は最大 $57,000\text{kW}$ 、年間 $161,248\text{MWh}$ を発電し、地域に安定的な電力を供給する。

滝里ダムの貯水池容量配分

貯水池容量配分は通年で同一の配分とするオールサーチャージ方式としている。
利水容量3,500万 m^3 とともに、洪水調節容量5,000万 m^3 を確保している。



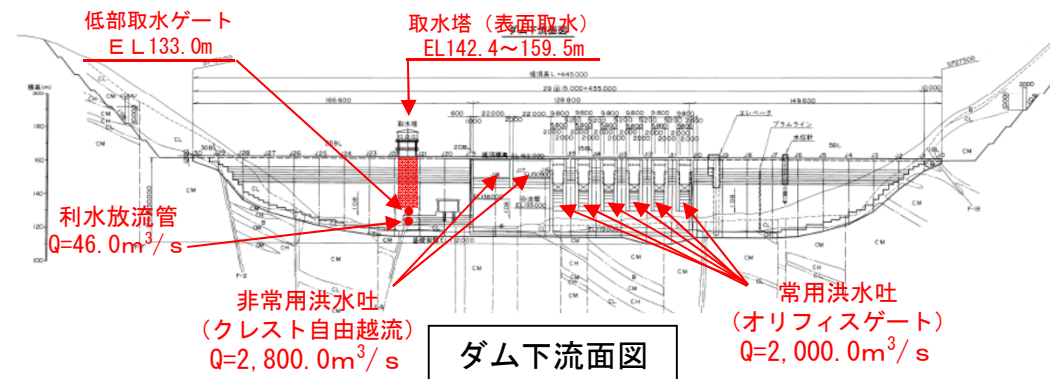
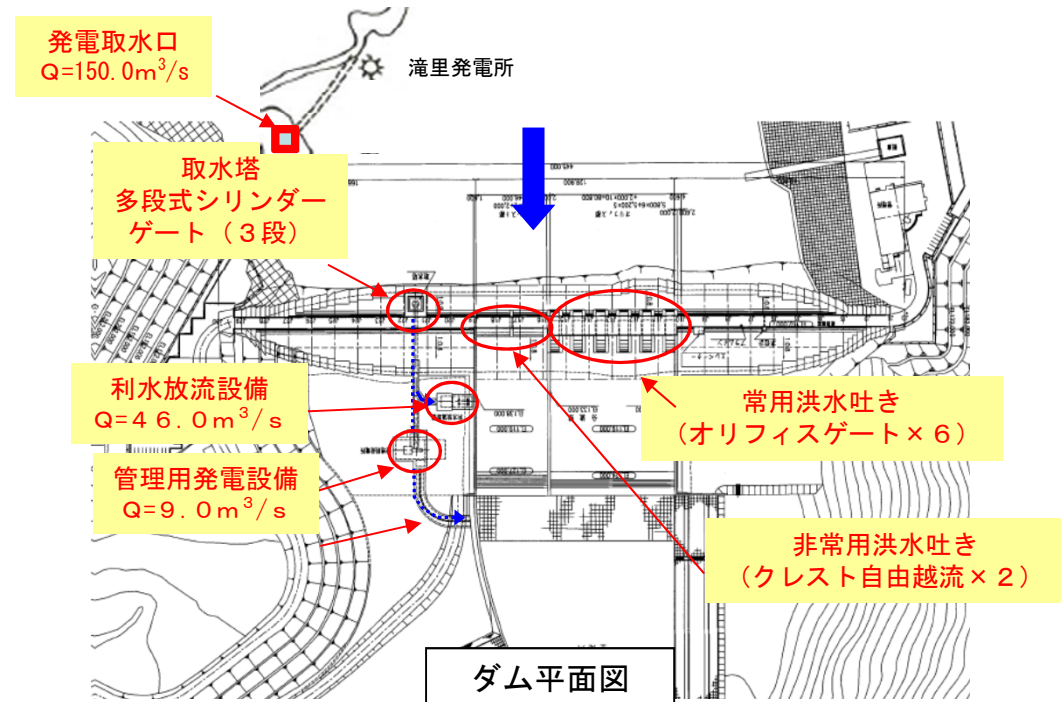
※「洪水等に関する防災情報体系の見直し実施要領」（平成18年10月1日国河情第3号河川局長通知）によりダム水位関係の用語が以下のように変更された。

(旧) 常時満水位 → (新) 平常時最高貯水位
(旧) サーチャージ水位 → (新) 洪水時最高水位

滝里ダムの放流設備

放流設備は、常用洪水吐き(オリフィスゲート6門)、非常用洪水吐き(クレスト自由越流部2門)、利水放流設備、管理用発電設備が設置されている。

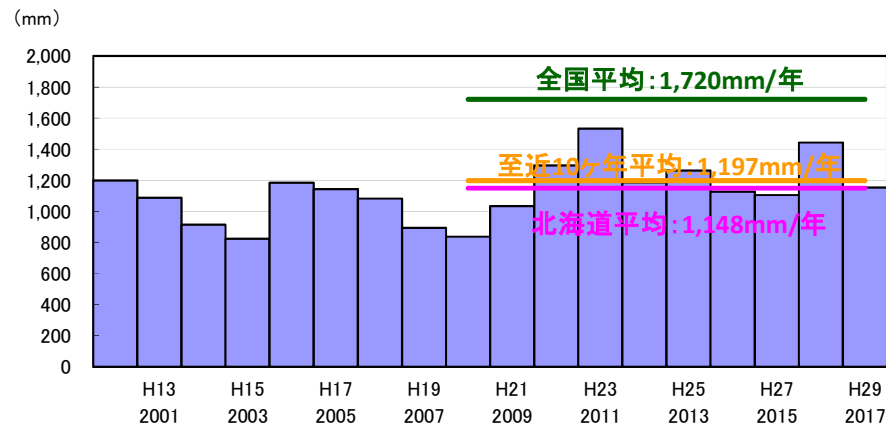
◆ 滝里ダム平面図・下流面図



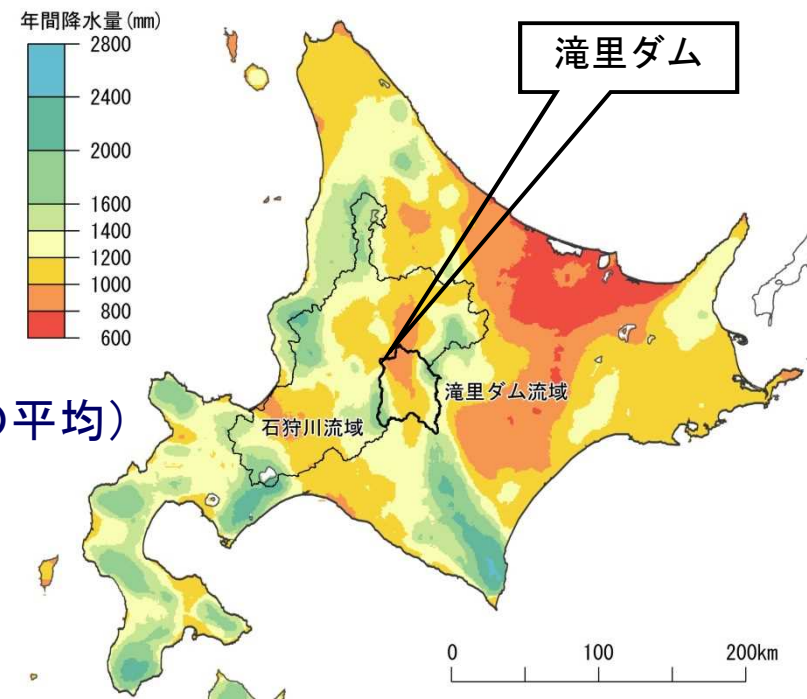
滝里ダム地点の降水量

滝里ダム地点の年間降水量は、平均（至近10ヶ年間）で約1,197mm/年となっており、北海道平均よりも若干多い。また、月別の平均降水量では、7月～11月に多いのが特徴である。

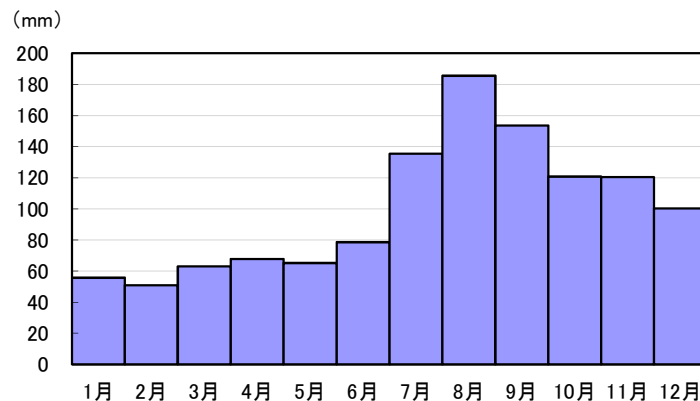
◆ダム地点の年間降水量の推移



年間降水量分布図



◆ダム地点の月別降水量 (平成20 (2008) 年～平成29 (2017) 年の平均)



出典：国土数値情報 (<http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>)
 H24平年値メッシュデータ(昭和56(1981)～平成22(2010))
 提供：国土交通省国土政策局国土情報課